

みんなで、す～で！ながさき虹色プロジェクト【長崎市地域まちづくり計画】素案に対するご意見と長崎市の考え方

別紙

意見者	No.	いただいたご意見	長崎市の考え方	意見を取り入れて修正した内容	意見を取り入れなかった理由
A	1	<p>内容について一読させていただきましたが、まちづくりという大きな課題に対して述べる知識がありませんので、ご計画によって地域づくりがすすむことを期待しています。一つ意見としまして計画のタイトルに違和感があります。特に「みんなです～で」という表現です。シンプルに「ながさき虹色プロジェクト」でいいと思います（このネーミングも違和感がありますが）。</p> <p>ご検討お願いいたします。</p>	<p>計画の名称につきましては、地域活動団体代表者や福祉、医療、教育、青少年育成、防災、産業など各専門分野の団体代表者、学識経験者、公募委員などで構成する地域コミュニティ推進審議会で、市民の皆さまに親しみやすい名称をご検討いただきました。</p> <p>「みんなで、す～で！ながさき虹色プロジェクト【長崎市地域まちづくり計画】」という名称は、地域にはいろいろな人がいて、まちづくりは地域によって異なり多様性がある、また、現状から明るい未来への懸け橋になるという意味が込められており、みんなでまちづくりに取り組もうという思いを、皆さんに身近に感じていただくよう長崎弁で呼びかける言葉で表現しています。</p> <p>今後、この計画を推進していく中で、地域のまちづくりがより進んでいくよう努めてまいります。</p>		<p>「長崎市の考え方」の欄に記載しているとおり、計画の名称は修正していませんが、今後、この計画を推進していく中で、地域のまちづくりがより進んでいくよう努めてまいります。</p>
B	2	<p>自治会組織があるのに、さらに地域コミュニティ連絡協議会を設立する必要があるのか。地域コミュニティ連絡協議会を設立する場合は、自治会と連携をしっかりとる必要がある。</p>	<p>長崎市では、地域のまちづくりを次の世代にもつなげていくために、自治会をはじめとした地域で活動する団体同士がさらに強くつながり、地域課題の解決や活性化に取り組む「地域コミュニティ連絡協議会」の設立をご提案しています。</p> <p>自治会は、地域にとって最も身近で核となる組織だと考えており、地域コミュニティ連絡協議会のように地区全体で取り組んだほうがいいこともあれば、自治会で取り組んだほうがいいこともありますので、地域の実情に合わせて、地域で話し合っって連携できるように支援してまいります。</p>		<p>「長崎市の考え方」の欄に記載しているとおり、内容の修正はしていませんが、今後、計画を推進していく中で、貴重なご意見として参考にさせていただきます。</p>

みんなで、す～で！ながさき虹色プロジェクト【長崎市地域まちづくり計画】素案に対するご意見と長崎市の考え方

別紙

意見者	No.	いただいたご意見	長崎市の考え方	意見を取り入れて修正した内容	意見を取り入れなかった理由
B	3	計画にいろいろたくさん記載されているが、優先順位をつけて進めるべきではないか。	この計画は、目指す地域の姿を「みんながつながり支えあい、安心していきいきと暮らせるまち」とし、その実現に向けて地域のまちづくりを推進していく計画です。 目指す地域の姿を実現するために、「みんなで取り組む地域のまちづくり」という活動のことと、「未来へつなげる体制づくり」というこれから先も地域のまちづくりを進めていくための地域の基盤づくりのことの大きく2つの柱に分けて展開しています。 地域の状況は地域によって様々であるため、それぞれの地域に必要なことを地域で優先順位を決めて取り組めるように、まちづくりを支援する担当職員が地域の特性や課題など実情を把握し、関係機関と連携しながら地域の皆さんと一緒に取り組んでまいります。		「長崎市の考え方」の欄に記載しているとおり、内容の修正はしていませんが、今後、計画を推進していく中で、貴重なご意見として参考にさせていただきます。
	4	自治会加入率の低下自体がおかしい地域に住むときは義務化すべき そうしないと連携できない、災害の困ったときにも対応できない	自治会につきましては、地域コミュニティの核として重要な役割を担っていただいておりますので、この計画の中でも自治会の活動や加入促進の取組み事例などを掲載しております。今後も自治会加入促進については、様々な視点から支援してまいります。		「長崎市の考え方」の欄に記載しているとおり、自治会加入等について計画に記載しております。今後、計画を推進していく中で、貴重なご意見として参考にさせていただきます。
C	5	まず、目標指標1の参考として掲載されているp12のアンケート調査について、理想とするものには世代や世帯状況によって異なる傾向が見られるのではないかと思います。どうでしょうか。現状と理想の割合の変化から、一定数の人々が理想として共助の必要性を感じているということは分かります。一方で共助を必要としない考え方もあり、どんな世代、どんな世帯状況の人が、そう考えるのかを分析する意味はあると思います。分析することで、方向性(1)で示されている、地域に対する一人ひとりの意識向上に向けて、もっと具体的な取り組みが掲げられるのではないのでしょうか。	アンケート調査結果は、全設問を年代別、世帯別に分析しております。 本計画に掲載している「ご近所に助け合える人がいる人の割合の現状と理想の比較」では、世代別、世帯別のすべてにおいて、全体の傾向と同じ結果であったため、計画には全体の結果を掲載しております。 方向性(1)「一人ひとりが地域に関心を持つ」の具体的な取組み例としては、地域での取組み例や市の支援策を写真とともに多く掲載するよう修正しました。	柱1方向性(1)の地域での取組み例及び市の支援策に反映しました。	

みんなで、す～で！ながさき虹色プロジェクト【長崎市地域まちづくり計画】素案に対するご意見と長崎市の考え方

別紙

意見者	No.	いただいたご意見	長崎市の考え方	意見を取り入れて修正した内容	意見を取り入れなかった理由
C	6	<p>次に、p21の自治会の加入促進について、目的や必要性を周知するだけで自治会への加入が促されるとは思えません。目的や必要性の周知の前に、まずは転入者や短期居住者でも地域に参画しやすいような雰囲気をつくる必要ではありませんか。自治会の中で、そこで生まれ育ってきた人々によるコミュニティが確固としてあることは素晴らしいことではありますが、それが、外部から来た転入者にとっては非常に溶け込みにくく、なかなか自治会加入、地域参画へと結びつかないケースが多々あると思います。また、1人暮らしの学生や社会人にとっては、その地域に居住し続けるとは限らないために責任が持てず、地域と関わることに壁を感じる、関わり方が分からないという人がいるはずで、地域ごとで居住者層には違いがあるとは思いますが、地域との関わりが薄い住民に対して、地域の中に居場所をつくったり、何らかの役割を与えたりして、地域との距離を近づける働きかけが求められるのではないのでしょうか。自治会加入を勧める前に、小さなハードルを置いていくことによって、徐々に地域に参画してもらう流れをつくることができると考えます。</p>	<p>自治会加入促進につきましては、自治会活動の目的や必要性についてご理解いただくための周知を行うことはもちろんのこと、新しく地域に転入したかたが、地域の活動に参加しやすいように、自治会の皆さんとも協働して、取り組みを進めていくこととしています。</p> <p>このことを踏まえ、計画の柱1「みんなで取り組む地域のまちづくり」の方向性(2)「様々な人や団体が参画し連携する」をより具体的に分かりやすい表現に修正しました。さらに、地域の取組み例や市の支援策を写真とともに紹介することとしています。</p>	<p>柱1方向性(2)の説明文及び「自治会加入促進支援」の説明欄に反映しました。</p>	
	7	<p>そして、方向性(3)では、暮らしやすいまちづくりというのが方向性として定められていますが、3つ目の伝統文化の継承についての内容は、この方向性とずれていないでしょうか。後世に残すべき伝統を継承することは非常に重要だとは思いますが、それによって市民が暮らしやすくなる、とは思えません。むしろこれは方向性(4)の地域の魅力づくりと関連が深いものだと思います。審議会の議事録にも、骨子案の時点で同様の意見が出されていたようですが、素案へ反映しなかった理由は何なのでしょう。</p>	<p>柱1方向性(3)「暮らしやすいまちづくりに取り組む」は、地域課題の解決とし、伝統文化の継承は人材不足という地域課題の1つと整理していましたが、より分かりやすくなるよう地域の伝統文化に関することはすべて方向性(4)「個性ある地域の魅力づくりに取り組む」に記載することとしました。</p>	<p>柱1方向性(3)「暮らしやすいまちづくりに取り組む」の「地域の伝統文化の継承など、次世代へつなぐまちづくりに取り組む」の項目を削除し、方向性(4)「個性ある地域の魅力づくりに取り組む」に反映しました。</p>	

みんなで、す～で！ながさき虹色プロジェクト【長崎市地域まちづくり計画】素案に対するご意見と長崎市の考え方

別紙

意見者	No.	いただいたご意見	長崎市の考え方	意見を取り入れて修正した内容	意見を取り入れなかった理由
	8	<p>さらに、方向性(4)の魅力づくりについて、市の支援策として移住支援が挙げられていますが、これはここに記すべき項目なのでしょうか。p29の方向性の説明には移住による定住人口の拡大については全く触れられておらず、地域の魅力発信を行って交流人口を増やすとあり、かなり矛盾していると考えます。そもそも、魅力発信の前に、地域で当たり前とされているものを魅力として掘り出すことは難しく、第三者の目が必要で、その部分に対してこそ支援策が求められるのではないのでしょうか。</p>	<p>地域の皆さんが地域の魅力を創出し、魅力の発信を行うことで、その地域に興味を持って訪れる人が増え、さらにはその地域に住みたいと思う人が増えることにも期待できると考えており、計画にもその旨分かりやすく記載することとしました。</p> <p>また、ご意見のとおり、地域の魅力の創出は、地域外の方の力も合わせて行うことが効果的であると考えますので、そのような視点も踏まえてまちづくりを支援する担当職員が地域の皆さんと一緒に取り組んでまいります。</p>	<p>柱1 方向性（4）「個性ある地域の魅力づくり」に反映しました。</p>	
C	9	<p>最後に、柱2の方向性(1)は、柱1の方向性(2)に書かれていることと重複していると感じました。地域の体制づくりは、住民の地域参画を図り、地域で連携するという方向性に向けた取り組みの1つではないのでしょうか。そもそも柱を別個に立てて説明するものなのかという疑問を持ちました。</p>	<p>この計画は、目指す地域の姿「みんながつながり支えあい、安心していきいきと暮らせるまち」を実現するために大きく2つに分けて展開しています。</p> <p>柱1「みんなで取り組む地域のまちづくり」では地域での活動のことを述べており、特に方向性（2）「様々な人や団体が参画し連携する」では、個人や団体の参画や団体同士が連携していくことの必要性を掲載しています。</p> <p>柱2「未来へつなげる体制づくり」では地域の基盤づくりのことを述べており、特に方向性（1）「地域の体制づくりを進める」では、これから先も地域のまちづくりを続けていくために地域で連携するしくみをつくることの必要性を掲載しています。</p>		<p>「長崎市の考え方」の欄に記載しているとおり、内容の修正はしていませんが、今後、計画を推進していく中で、貴重なご意見として参考にさせていただきます。</p>
	10	<p>また、体制づくりとして、現在全市的に地域コミュニティ連絡協議会の設立を推進しているということですが、活動の中心となる担い手がない等の問題で設立が難しい地域も出てくるのではないかと思います。そういった地域に対して体制づくりの支援策は何かあるのでしょうか。</p>	<p>地域の状況は地域によって様々ですので、地区の現状課題、支援方針を記載した各地区の支援計画を作成しております。この支援計画に基づき、地域の実情に応じてまちづくりを支援する担当職員が、地域コミュニティ連絡協議会の設立に向けて地域と一緒に取り組んでまいります。</p>		<p>「長崎市の考え方」の欄に記載しているとおり、内容の修正はしていませんが、今後、計画を推進していく中で、貴重なご意見として参考にさせていただきます。</p>

みんなで、す～で！ながさき虹色プロジェクト【長崎市地域まちづくり計画】素案に対するご意見と長崎市の考え方

別紙

意見者	No.	いただいたご意見	長崎市の考え方	意見を取り入れて修正した内容	意見を取り入れなかった理由
D	11	<p>この素案を一通り読み率直に思ったことは、現状とそれらを踏まえた目標については書かれているけれども、それを達成するための行動について触れられていないということです。各方向性の説明を読みながら、たしかにこれは大切だと思うところは多くありました。しかし、では私たちはこれから何をすればいいのかと考えたとき、そこに関連する説明がなければどうやって目標に向かって行くのかが理解できませんし、実際に何をやるのかを思い描くこともできません。各方向性に記載予定である地域での取り組み例の写真などが該当するのかもしれませんが、抽象的であり不十分であると考えます。</p> <p>これは、6計画の推進・進行管理の方向性の進捗をはかる指標にもつながることだと思います。計画の進捗をはかる指標があっても、これから何を行い指標の達成につなげるのかがこの素案を読んだだけでは理解できませんでした。もしかすると、具体的な策は各方向性で示している支援策ということになるのかもしれませんが、ここでも取り組みの説明までしか載っていません。現在、説明の項目は市民目線で分かり易い表現にするために調整中とありますが、その方向性にどうつながるのか、支援策がどのような意味で目標達成に貢献するのかを示す欄にするべきだと考えます。また、この支援策の中には方向性と関連がないのではと思うような取り組みもありました。そういった支援策でも説明の部分で方向性とのつながりを書くことで市の意図がより市民に伝わりやすくなるのではないのでしょうか。</p>	<p>この計画は、目指す地域の姿を「みんながつながり支えあい、安心していきいきと暮らせるまち」とし、その実現に向けて、地域の状況に応じて、それぞれの地域に必要なことを地域で優先順位を決めて取り組む地域のまちづくりを推進していく計画です。</p> <p>計画には地域での取り組み例を写真とともに多く掲載していますので、それらを参考に各地区で市や関係機関も一緒になって地域のまちづくりに取り組んでまいります。</p> <p>また、計画の推進にあたって、目指す地域の姿を実現するための目標指標と、各方向性の進捗をはかる指標を設定していますが、この計画は地域のまちづくりを推進する地域主体の計画であるため、各地域団体の活動状況なども併せて、総合的に進行管理していくこととしています。</p>		<p>「長崎市の考え方」の欄に記載しているとおり、内容の修正はしていませんが、今後、計画を推進していく中で、貴重なご意見として参考にさせていただきます。</p>

みんなで、す～で！ながさき虹色プロジェクト【長崎市地域まちづくり計画】素案に対するご意見と長崎市の考え方

別紙

意見者	No.	いただいたご意見	長崎市の考え方	意見を取り入れて修正した内容	意見を取り入れなかった理由
	12	<p>内容とは関係のないところですが、支援策の説明の部分で各課照会により調整中やp37からの指標でも調整中となっているのはどういうことなのでしょう。いつ調整が終わるのかも気になりますが、それよりもふつうは調整が終わってからパブリック・コメントを募り市民からの意見を聞くものではないでしょうか。</p>	<p>本計画の趣旨や目的、方向性を中心に、素案の段階で広く市民の皆さまに情報を提供してご意見いただきたいと考えておりましたが、一部未調整があったために意見が出しづらいというご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>		<p>「長崎市の考え方」の欄に記載しているとおり、貴重なご意見として参考にさせていただきます。</p>
D	13	<p>最後に、私個人の考えた内容への要望になりますが、若者への働きかけの方針についても記載してほしいです。私たちのような大学生は、大学在学中の4年間若しくは6年間しかその地域に居住しないかもしれません。それでも一住民として地域との関りは持ちたいですし、持つ機会があればいいと思っています。実際にp10でも似た意見がありました。方向性やその説明の中ではあまり触れられておらず、大学生が地域にかかわる機会があるのかと疑問を持ちました。意見が反映されていないことについて、なぜそのような方針になったのか教えていただけますでしょうか。</p>	<p>地域のまちづくりは、年齢や性別、昔から住んでいる人、引っ越してきた人などに関わらず、誰もが気軽に参加し活躍できる機会が必要だと考えておりますので、柱1方向性（2）「様々な人や団体が参画し連携する」を、より分かりやすく具体的な表現に修正しました。 さらに、地域でのボランティア参加を希望する大学生と地域をつなぐしくみである「游学のまちdeやってみゅーで“U-サポ”」についてコラム記事で紹介する等、事例を追加しました。</p>	<p>柱1方向性（2）「様々な人や団体が参画し、連携する」に反映しました。</p>	